



“さくらの会”便り

発行責任者	会長 田中 明
編集責任者	事務局長 上原 栄
Tel.0773-22-7859	

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

グループ訓練研究終わる 6名全員が終了

4月14日（日）市立福知山市民病院での個別面談からスタートしたグループ訓練研究は、7月のゲームの企画・運営、8月の調理、9月の外出計画・実行の訓練を終了し、実質的訓練は終わりました。

残りは12月15日（日）市立福知山市民病院での個別面談のみとなります。

グループ訓練研究には、関西福祉科学大学の本多先生の指導で延16日間行われ、セラピストの方は延24名、さくらの会からは、延31名の支援協力を戴きました。

訓練生は、6名の全員が訓練を終了しました。

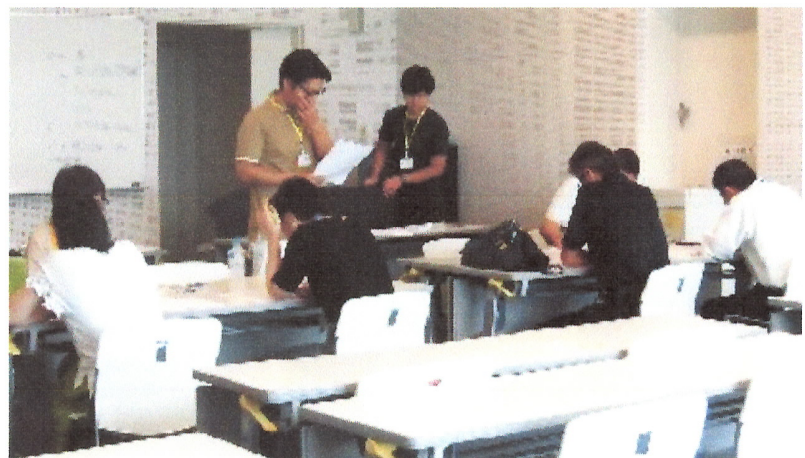


(T・M)

自分を客観的に

グループ訓練を3回の計画立てや実行、振り返り等を通してチームとして共有、協力、協調性を学んだり、個人として自分の出来ない部分を見つける為にとても役に立った訓練でした。色んな検査などを行って自分を客観的に見て改善につなげる事も出来ました。

ありがとうございました。



楽しかったです

(E・M)

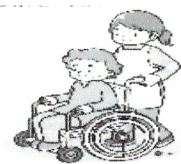
先生達の研究の為ですが、訓練生の楽しみ兼成長につながるような企画も、またして戴きたいです。色々な企画、楽しみになったし、楽しかったです。



次は涼しい時に

(Y・S)

真夏の暑い時期から訓練をされたので、今度は、4月～7月の3か月間の方がうれしいです。



(「参加者の声」
次ページに続く)

参加者の声 訓練は新鮮

(S・S)

『この訓練に参加させていただき普段の病院でのリハビリとは違って同じような病気を発症した人たちとの訓練はとても新鮮でした。

今の自分の出来る限りのことに取り組んできたつもりです。大変貴重な経験でした。

それぞれ目標が違うメンバーで同じ課題に取り組む困難さを感じましたが、終了を迎えるに当たって一抹の寂しさを感じています。この数ヶ月間、先生をはじめ会の皆さまには大変お世話になりました。

ありがとうございました。』

あと1回となりましたが、最後までよろしくをお願いします。

チラシ配布

お知らせ

第23回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会のチラシ1450枚とポスター63枚の発送作業を9月7日(土)午後、綾部市保健福祉センターにて、当事者5名と家族等6名にて行いました。

送付は437カ所に送付しました。

▼ 散歩していたら、どこからか金木犀の香りが。なぜか子供の頃の風景がうかんできました。

▼ 今が一番いい季節。でも短いですよ。すぐに、暖房の準備をすることに。

▼ ついでに家の中の不
要物品を整理しようか
な【F】

【編集後記】

北部高次脳カフェ 開催の案内

「北部高次脳カフェ」開催の案内がありました。

京都府北部高次脳機能障害者 学習会・交流会として、第1回は10月21日(月)に開催されます。来年の3月まで毎月第3曜日に開催されます。

詳細は、別紙チラシを参照下さい。

【場所】 京都府北部リハビリテーション支援センター内(舞鶴市倉谷)

【内容】 高次脳機能障害の基礎を学ぶ学習会の後、当事者様・ご家族による交流会

※1回のみ参加も可能

第23回 脳外傷・高次脳機能リハビリテーション講習会が令和元年11月4日(月)午後1時~4時、市民交流プラザふくちやま 3階交流スペースにて行われます。

講演は、クラブハウスすてっぴなな統括所長・作業療法士 野々垣 睦美様から「みえにくい障害とその支援について」と題して行われます。

また、「みえにくい障害の支援をスタートするために」をテーマに当事者、ケアマネジャー、医療機関から経験や取り組みの発表があります。

詳細は、別紙チラシを参照下さい。



リハビリテーション講習会